

# Japan Region



変化の認識とすばらしき対応

RECOGNITION OF CHANGES AND SUPERB RESPONSES

---

Vol. 12, No. 2, January 1994

目 次  
*Table of Contents*  
*Vol.12/No.2.Jan.1994*

日本リージョン会長新春メッセージ .....	Message from Japan Region President	1
ディビジョンVI副会長メッセージ .....	Message from Division VI Vice-President	2
ITCニュース・リージョンニュース .....	ITC News & Region News	3
資格認証委員会 .....	Accreditation Committee	4
会計監査委員会 .....	Audit Committee	4
予算・財務委員会 .....	Budget and Finance Committee	5
指名委員会 .....	Nominating Committee	5
新クラブです .....	New Clubs	6
1993年度標準会則の変更 .....	Changes of Standard Bylaws 1993	7
カウンスルプログラム 頭をひねったこの企画 .....	Programs of Each Council	8
第1回カウンスル例会に参加して .....	Enjoying the Council Meeting	12
世界と結ぶ .....	Connecting With the Other Regions	13
哀 悼 .....	Remembrance	14
第12回日本リージョン年次大会 .....	Japan Region 12th Annual Conference	15
大会プログラム予定表 .....	Region Conference Program Plan	16
プログラム・教育委員会 .....	Program-Education Committee	17
教育セッション一覧表 .....	Trainig Session Program	18
登録・食事申込書 .....	Registration & Meal Reservation Form	20
ホテル宿泊申込書 .....	Hotel Reservation Form	21
観光・交通案内 .....	Sightseeing & Traffic Committee	22
大会準備委員会 .....	Annual Confenence Committee	23
リージョンサロン .....	Region Saloon	24
リージョン・ミニレター用紙 .....	Region mini-letter Paper	25

## 日本リージョン会長新春挨拶



### 年 頭 偶 感

日本リージョン会長 伊庭文子

新年おめでとうございます。ご機嫌いかがでいらっしゃいますか。「変化を認識致しましょう。…」とリージョンテーマに掲げて出発し、前半を過しました。時の流れに棹さして対岸の景色を賞でる余裕も時間もなく、乗り越えて参りました。毎年新しい任務を受けるITCとしては、得難い体験の連続ではありますが、また当然の戸惑いでもあるかと存じます。

変化と申しますと、自然界における天災の猛威からは、人間の底力と苦難を乗り越えて生きる意義と素晴らしさを教えられ、人間界においては、保守政権1955年体制の38年振りの政変からは、民主主義の再認識、個人の質の向上の急務、そして真のリーダーシップとは何かの問いなど溢れる情報の中で考え、論じ合わねばならないことを教えられました。日本リージョンも社会とのつながりを強化し、社会性を肉づけるには、個人の向上はもとより、社会人たる研修にも目を向けて行かねばならないと思います。

「ビジョンを分かちあい、実現しましょう」のITC会長のテーマこそ、一人一人がITCで身につけたものを行動に移し、より新しいものを創りだすことを示唆しておられると再認識しました。皆様のお考えは如何でしょうか。分かち合うというのは、心が通じ、理解し合わなくてはできません。第2回カウンスル会長のご報告を拝見して、皆様の積極的なご参加と、能力が発動される状況をうかがい知り、誠に心強く、リージョンとして大きなご支援を頂いているという思いが致しました。楽しい雰囲気の中で「一步でも手ごたえのあるものに近づく」という初夢を見て、新しい年の出発と致します。

### New Year's Greetings

A very happy new year to you all! How is your new year holidays? We have sailed out with the Region theme, "Recognize the changes...", now the first half of the term has gone. Ever since we have been trying to manage to steer ourselves in the midst of the stream of passing time. Doing so, we had no time to afford to enjoy the scenery of the other side.

ITC gives us new tasks every year, and that offers us precious opportunities to practice what we have been learned, and at the same time, that brings series of expected perplexity.

Changes in the natural environment would make us recognize unmeasurable power of human beings, wonder and meanings of our lives at a time of calamity in the process of our overcoming difficulties. In the human world on the other hand, we have been experiencing a change of the 38-year old established conservative political government reign into the new one, which brought up issues in front of us: reexamining what democracy stands for: urgent need to improve every individual; what is the genuine leadership and so forth. We realized that we had to make our decisions and to exchange our views in the midst of overwhelmingly large information.

Japan Region is not the exception to consider various matters. In order to strengthen the ties with our community and to develop our social significance, we need to look into a possibility to offer a training to be a member of the society as much as to work on self-improvement. ITC President's theme, "share the vision and make it happen" is indicating that each member should take an action from what ITC training had enabled us to be, and that would help us, members, to create something new, as I interpret. What do you think?

Sharing isn't possible without heart-to-heart understanding. I have looked at the second Council Presidents' reports, from that I could indirectly observe your active involvement and implementations of your ability, and that gave me strength as well as to make me believe that the Region has been strongly supported by you, members.

In a pleasant atmosphere, let me have my first dream, "Making a steady approach toward the response" and take off into the new year.

Fumiko Iba  
Japan Region President

ディビジョンVI副会長メッセージ *Message from Division VI Vice-President*



GREETINGS AND BEST WISHES FOR A HAPPY NEW YEAR.

As each year starts it is appropriate to consider the past while we plan the future. New directions are important in our lives and in the life of ITC. We have heard much about change in the past few years. People are excellent at changing those things they want changed but not so compliant about changing things which they have become accustomed to and with which they are comfortable.

"New directions" is my current theme. Think about the new directions we have seen the world take since ITC started in 1939. We have seen major changes in technology, major changes in travel opportunities and major changes in liberating men and women from old restrictive customs. It is not many years since our personal new directions would have followed the personal new directions of our parents. Who now is doing anything that their parents or grandparents would have envisaged?

Why do I emphasize NEW DIRECTIONS? Because with the changes in today's world in technology and availability of information we have members and potential members who have different directions?

We need to look for new and exciting ways to involve new and exciting people in ITC. It is good for them, good for us and good for ITC.

So keep looking for new directions that will stimulate the personal growth of members and take us towards the new century with renewed vigour.

JOAN GROTH

A handwritten signature in cursive script that reads "Joan Groth".

DIVISION VI VICE PRESIDENT

新年おめでとうございます。

年の始めには、誰しも未来に思いを馳せつつ越し方を振り返るものです。私達の人生にとってもITCの存続にとっても新しい方向が重要となります。この数年間にずい分多くの変化を見てきました。人は自分が変わればよいと思っていることを変えるのはとても上手ですが、馴れ親しんでいるものや快適だと思っているものを変えるのは潔しとしないようです。

“新しい展開”というのが私の今のテーマです。1939年(原文のまま)ITC発足以来私達が経験してきた、世界が辿った新しい方向を考えてみてください。科学技術の大きな変化、世界間の自由な往来、因習からの解放という大きな変化がありました。ついこの間までは、親が歩んだ道その子が歩むというのが普通でした。今や子の世代は親や祖父母の思惑を越えて、自分の新しい道を歩いています。

なぜ今私が「新しい道」を強調するのか。それは科学技術や情報利用の今日の世界的な変化につれて現メンバーやこれからメンバーになる人達が新しい別の方向を目指していくと思うからです。

私達は、好奇心旺盛な新しい人々をITCの仲間にするために、楽しいやり方を捜さねばなりません。その人達にとっても、私達にとっても、ITCにとっても、それはよいことなのです。

会員の個々の成長を促し、再生した活力で私達を新しい世紀に運んでくれる新しい道を捜して参りましょう。

ジョアン グロス

# ITC ニュース

## ITC役員会活動報告 No.2 (抜粋)

- 1) RMT……ルビー・ムーン次期会長へ送った情報に基づいてRMTは計画されます。  
ITC訪問者が、ワークショップ形式での専門化された訓練をする機会あるいは、一般的な討論と一緒にする部会を提供します。
- 2) 議事法に権威あるコンサルタント……現在3人の議事法コンサルタントを持っております。  
ロバート法のThelma McClelland、レントン法のRosemary Michaelそして、Erskine May法にDiana Porterfieldです。質問があれば連絡をしてください。
- 3) 1994年度ITC大会……ピッツバーグ・ヒルトンで開催予定の1994年度世界大会に我々は期待しています。あなたの訓練の充実のために、質の高い教育ワークショップを提供するために最高の訓練者の人選がなされております。

## ディビジョンVIよりのお知らせ

現行スピーチコンテストのルールは今期までです。変更に対して勧告があれば、J・グロスディビジョンVI副会長または、ITCスピーチコンテスト委員長に申し出てください。

## リージョンニュース

- 1) 今期リージョン大会への公式訪問者は、スザンヌ・シフレット国際会長であるという通知をディビジョンVIより10月20日に受信致しました。大会における訪問者の役割と、受け入れ体制について指示がありました。国際会長を心よりお迎えして、充実した大会とするべく綿密に連絡をとることと致します。
- 2) コミュニケーターNo.1 (1993~1994年度版翻訳配布済) をもう一度よく読んでください。
  - 本部からのお知らせ(P.13~14)
  - ITC目標(P.15~16)

## 【教育基金研究特別委員会の設置】

役員会は、このたびリージョン教育基金を会員の教育に役立てるための方法を研究する委員会として、特別委員会【教育基金研究委員会】を諮問機関として任命することと致します。

リージョン会則 第4条 C項「日本リージョン基金」の規定に従い、200万円の元金を超過した基金は、教育目的に限り使用することが許されています。リージョンの目標とするCMTの充実強化、新クラブの教育、プログラム・教育の活性化等にこの基金が有効に使われることを要望します。

1993年11月22日 日本リージョン役員会



## 祝 クラブ アニバーサリー

15周年	京都
10周年	名城 六甲
5周年	千里、境、飛騨高山 米子マンデー



**資格認証委員会**  
*Accreditation Committee*

## 自己の成長を自分で測定する

委員長 須知 繁子

資格認証委員会はITCの中でも特異な教育プログラム委員会といえます。この委員会はクラブに必須の委員会であること、と同時に会員が任意に参加し、自己の成長を自分で測定するプログラムであることです。

従って委員会は会員にこのプログラムがいかに楽しみつづ参加でき、また自分の進歩を記録する喜びが伴うものかを説き、取組への意欲を高め励まします。委員の熱意はクラブの資格取得者にかかなりの影響を与えます。

参加者が役割を行った後正しい評価を受けることは、このプログラムの目的のためにきわめて重要です。役を単に行うというだけではなく、あとで参加者と評価者が出来ばえについて話しあい、両者とも水準に達していたとの合意が得られなければなりません。

また参加者は役割を行うにあたっての事前通告を忘れないようにしてください。

今期から全てのレベルの筆記テストが廃止されました。加えて昨年11月、ITC役員会は「会員は過去に務めた選出役員についてはさかのぼって認証される」との決定をしました。これらの状況から、それではプログラムに参加してみようかとお考えの方もおられましょう。New Accreditation Program を購入して気分も新たに挑戦いたしましょう。

**会計監査委員会**  
*Audit Committee*

## 会計監査について

委員長 藤村 泰子

皆様は、各レベルの会費をいくら納めているかご存じですね。会費の値上げなどには大変な関心をお持ちですが、その会費がどのように管理、使用されているか、あまり関心を持たれない方がおられるように思います。

ITCの会計監査とは、会費の徴収が完遂されて、会費の使途が明確にされているかを検証して、会員に安心を与えることです。すべての金銭収支計算が間違いなく行われていることを立証することです。

因みに監査は英語でauditと言い、ラテン語のaudireで「聴取する」という意味の言葉です。かつては、監査人が会計記録を会計に読み上げさせ、監査人がこれを聴取して、正否、適否を判断したことに起因するのです。

会計が、現金収支を各項目に的確に記録し、一切の記録（会計帳簿、証拠書類、各種の書式）を効率的に整理保管してくださると、会計監査はよりスムーズに運びます。

会計監査委員は、中間に一度監査をすると年度末の監査の効率がよくなります。

各レベルの会則、常規との照合、為替レートの変更施行日に注意してください。会員は今一度決算報告書をご覧ください。今後はより一層関心をお寄せくださいますようお願い致します。

**予算・財務委員会**  
*Budget and Finance Committee*

**予算・財務委員会の任務**

委員長 佐藤 明子

日本リージョン会則によりますと、予算・財務委員会は、「次期会計年度のリージョン予算案を作成し、8月1日までに役員会に提出し、10月15日までに承認を得る。」とあります。すなわち、今期初めに発表された予算案は前期の予算・財務委員会が作成したもので、その予算の中で会は運営されています。

私達の委員会としての実際の仕事は、2月に提出される補正予算の作成からです。各委員会が要請すれば、予算の中間見直しを行い、補正の必要があれば勧告します。役員会が予算の補正を認めれば、補正予算を組みます。クラブやカウンスル（No.1は含まない）の予算は、新しい期の委員会がたてます。このように、初めて任務についた時には複雑さを感じましたが、考えてみれば、会計の状態を知ってから予算をたてるという意義ある方法かとも思えるようになりました。

普段私達は、いかに上手に消費するかを考えますが、ITCでも上手な支出を各委員会でお考えくださいまして、予算の補正をする必要がないようご協力をお願い致します。

**指名委員会**  
*Nominating Committee*

**リージョン役員  
指名委員選出に積極性を！**

委員長 今井千代子

今期のリージョン大会は1994年6月2日、3日に開催されます。この大会で、次期リージョン役員並びに指名委員の選挙が行われます。各クラブは候補者を選挙の90日前、（3月4日）までにリージョン指名委員会にご提出ください。

委員会は候補者の推薦をクラブに要請し、また、資格のある会員を積極的に探すことができると、その任務は会則にあります。

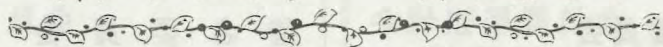
リージョン役員は8カウンスル73クラブ1732名（1993年11月12日現在）の会員を擁すITC日本リージョン運営の責任を持つ重要な役割です。

リージョン役員はクラブ、カウンスルの役員をつとめた経験があること。そして、会長と次期会長は正会員5年間以上で、カウンスル会長、リージョン選出役員の経験を、第一副会長と第二副会長は正会員4年間以上、リージョン選出役員あるいは常任委員長の経験を、書記と会計は正会員3年間以上を、その資格として求められています。

日本リージョンの成長を目指してご活躍いただける方をご推薦ください。

11月のリージョンメールで関係書類を送付いたしました。クラブで十分ご検討の上、3月4日までに指名委員会宛ご提出をお願い致します。

## 新クラブです 初めまして



ポート神戸クラブ (カウンスルNo.3) 1993年7月9日認証 No.3590

会長 室谷 良子



此の度、多くの方々のお力を頂戴致しましてお仲間入りをさせていただきました。この上もない喜びでございます。ITCは自己啓発の場であるとお聞き致しました。しかし、周囲には数限りない程の自己啓発の場がございます。でも、「何かが違う」その魅力をまさぐりながら、私達19名は手を携え、遅々たる歩みではございますが歩を進めて参りたいと存じます。皆様にお出会いましたことに益々の感謝を込め、「30代は模索の時代、40代は取捨選択の時代、50代は編集の時代、60代は結集の時代、70・80代はより美しく煌めいて」生きてゆきたいと存じます。

横浜クラブ (カウンスルNo.8) 1993年8月2日認証 No.3591

会長 星野 佐登

みなと未来をめざして発展をつづける都市、横浜に産声をあげた横浜クラブは、皆様に祝っていただき、元気に明るい未来に向けて歩き始めました。年齢の幅も、会員歴の幅も広い新クラブとしてはちょっと異例のクラブですが、楽しく活動するためにはまずお互いを理解すること、それには何でも話せる雰囲気を作ることを当座の目標といたしました。白紙のクラブがどんな色になるか、現在のアッケラカンとした明るさを持ち続けたいとチャーター会長の責任の重さを例会の度に痛感しています。増設に向けてお骨折りくださった方々に心より感謝し、今後共よろしく願い申し上げます。



徳島クラブ (カウンスルNo.5) 1993年10月22日認証 No.3597

会長 五藤 喜久子



12月2日チャーター式典を感激のうちに無事終える事が出来ましたのは、増設委員の皆様方の熱意と忍耐のお蔭だと深く感謝致しております。四国で初めての日本語クラブとして、伝統あるITCクラブに所属させていただく事は、大変光栄と会員一同心から喜んでおります。

式典の様子が新聞に報道されましてから数日間は、多数の方の入会の申込電話があり応対に忙殺されました。これからは、先輩の皆様方のご指導のもと、この感激をしっかりと心に抱き、研鑽をつみ、ITCのメンバーの一員として努力したいと心に誓っております。

# 1993年度 標準会則の変更

Changes of Standard Bylaws 1993

会則・決議委員長 君野 栄子

## 標準クラブ会則

### 1. 第4条 財務 G項 有資格クラブの条件 1. c.

「前年度の」と「未納会費」の間に、「物品購入未納金、」を挿入。

### 2. 第5条 選出役員 E項 任期

4. 役員の変更はITCのすべてのレベルに報告しなければならない。〈付加〉

\*1993年度は、標準カウンス会則および標準リージョン会則については変更はありません。但し、各レベルの日本語版の標準会則、およびITC会則は校正上の変更をしておりますので、参考にされる場合には日本リージョン資料の1993年度版をご購入ください。

## Standard Club Bylaws

### 1. ARTICLE IV. FINANCING SECTION G. GOOD STANDING REQUIREMENTS 1.c.

Inserting "purchases," between the word "year's" and "unpaid"

### 2. ARTICLE V. ELECTED OFFICERS SECTION E. TERM

Adding a new paragraph "4. Change of officers shall be reported to all levels of ITC."

\*No changes for Council and Region Standard Bylaws 1993.

## ITC日本リージョン所属クラブ会員状況

1993年11月12日現在(会員委員会資料より)

カウンスルNo.1	会員数	カウンスルNo.2	会員数	カウンスルNo.3	会員数	カウンスルNo.4	会員数
1 名古屋	27	1 阪神	28	1 関西西	29	1 九州	22
2 葵	29	2 神戸	15	2 芦屋	22	2 ひろしま	26
3 錦	30	3 イースト神戸	23	3 西宮	19	3 福山	29
4 栄名	27	4 甲南	26	4 姫路	29	4 岡山	30
5 東城	24	5 六甲	24	5 尼崎	25	5 安芸	12
6 東山	27	6 宝塚	19	6 舞子	18	6 大分	20
7 浜松	17	7 御影	19	7 しらさぎ	24	7 岡山あくら	28
8 飛騨高山	26	8 三田	22	8 ポート神戸	19	8 瀬戸内	23
9 岐阜	26	9 三山	17				
10 千種	18						
11 刈谷	29						
11 合計	280	9 合計	193	8 合計	185	8 合計	190
平均	25.5	平均	21.4	平均	23.1	平均	23.8
カウンスルNo.5	会員数	カウンスルNo.6	会員数	カウンスルNo.7	会員数	カウンスルNo.8	会員数
1 大 阪	28	1 京 都	30	1 鳥 取	28	1 東 京	28
2 北 大 阪	24	2 平 安	28	2 米 子	27	2 筑 波	24
3 豊 中	25	3 都	22	3 松 江	28	3 青 山	18
4 南 大 阪	26	4 奈 良	29	4 倉 吉	27	4 柏	27
5 城 北	23	5 北 摂	20	5 境	25	5 千 葉	21
6 梅 田	21	6 サ タ デ	20	6 米子マンデー	26	6 サンデー	15
7 千 里	19	7 琵琶湖	23	7 出 雲	26	7 東 葛	11
8 帝 塚	25	8 鴨 川	27	8 とっとり砂丘	25	8 葦 崎	20
9 堺 山	30					9 彩 玉	26
10 徳 島	30					10 つくば紫峰	13
						11 横 浜	19
10 合計	251	8 合計	199	8 合計	212	11 合計	222
平均	25.1	平均	24.9	平均	26.5	平均	20.2

クラブ数 73 会員総数 1,732名 クラブ平均会員数 24名

## プログラム 頭をひねった この企画

### カウンスルNo. 1

今期のプログラムは「序・破・急」で

第一副会長 岩田 はるみ

第21期カウンスルNo.1のテーマ『明日を創る広い視野を』を基に、3回の例会（第3回はスピーチコンテスト）を「序・破・急」で進めてまいります。

他国の人々に、私達は如何に「日本」を語るができるのか。それは国際人としての大きな課題と考えます。今や日本は英和辞典の時代は過ぎ、和英辞典の時代とされています。世界に誇るべき長い歴史を持つ日本を言葉や文章に触れることで再確認して、国際的視野を広げるための基盤を少しでも固めることができたなら…と考えました。

第1回（序）『言葉』・第2回（破）『文章』・第4回（急）『比較文化論』をテーマとして、他国と日本の違いを確認してより高度な国際的認識を得たいと思います。

プログラム委員は、プログラム参加者とともに叡智を寄せ合いプログラムの充実をはかります。プログラム参加者は、ITC歴の長・短を組み合わせることで依頼します。相互に刺激し合いたいものです。これは、我がカウンスルが歴史の長いクラブと浅いクラブを持つ幸せです。

第1回は、言葉をお仕事としておられるNHK・葛西聖司アナウンサーを招き、メンバーによる三者三様のスピーチの講評と「言葉と暮らす」のテーマによるスピーチをお願いしました。

第2回は、文章を語る、味わう、書くの三つのセッションに分けて準備中、2月から比較文化論の勉強開始です。広く、個々のメンバーにとって、一つの問題提起となればよいと願います。

### カウンスルNo. 2

例会の午後を楽しく

第一副会長 今井 京子

今期は「宇宙からの発想」のテーマの下、シンポジウムとフォーラムに挑戦。

第1回はシンポジウム「今、リーダーシップとは？」 先ず日本リージョン伊庭文子会長の基調講演は、リーダーシップの本質に触れて、民主的な人間性のあるリーダーが好ましいと、格調あるスピーチ。次に泉谷智恵さんが性格分析からみた「リーダーの傾向と対策」 例えば攻撃的性格のひとは積極的なのは良いが、戦場では一番先に飛び出してタマに当たって死ぬ等、ユーモアに溢れた洗練されたスピーチ。小山一子さんは「私のスピーチは目で見てほしいスピーチ」と先ず聴衆を魅きつけ、リーダーとは立派な大人の人間になることと説得、舞台せましと楽しいショーであった。最後のスピーカー立野知津子さんは「リーダーは一日にして成らず」 リーダーシップの3タイプ、リーダー中心・折衷型・メンバー中心を頭にいれて行動してほしいと、可憐な外見に反し堂々と論陣を張った。モデレーター寺田めぐみさんはこの三者三様のスピーチを冷静にリードし、見事に纏めあげた。

全員を居眠りさせないでおうという目論見は成功した。再演の打診もあり、本当に一座を組んでシンポジウム「今、リーダーシップとは？」を売りに出そうかとも思う。

第2回は若手の人気エッセイスト三浦暁子さん（曾野綾子さんのお嫁さん）の講演「変身してみませんか」の後、出席者全員参加のフォーラムです。2月3日（休）ぜひご出席ください。

## カウンスルNo.3

## 会員主導で動くカウンスルNo.3

第一副会長 前川 雅子

今期カウンスルNo.3では“プログラムは貴女が、そしてみんなが主役です。プログラム委員会は貴女によって動きます”をモットーに活動をしています。それで前期末、今年度プログラムに対する要望をアンケートしました。その結果希望の一番多かったストーリーテリングを第1回例会でとりあげることとし、講師による講演と実演、メンバーによる実演も織りまぜて実施いたしました。そしてそれを身につけていただけるようにと、印象の薄れない今期中に各クラブでも実施していただくことにしています。

第2回例会には要望の多かった4部門のワークショップを計画しています。幸いNo.3のメンバーで、その知識、キャリアともに申し分のない方がリーダーに決定しております。会員歴、年齢などがそれぞれ異なるメンバー各人に十分満足していただき、その成長に役立つようにと、リージョン大会と同じように各自希望の部門を受講していただく、そのような方法を試みようとして準備しています。

第3回例会、第4回例会はメインのスピーチコンテスト、役員交代式に花を添え、ムードを盛りあげ、引き立てることのできる楽しいプログラムの目処がついてきました。後3回の例会も一人でも多くのメンバーに参加していただけるようにし、参加された方には十分満足していただけるようにしたいものだとの願いを込めて、希望に胸をふくらませひたすら努力を続けています。

## カウンスルNo.4

## 楽しく魅力あるプログラムに

第一副会長 武田 邦子

カウンスルNo.4は、会長テーマ「生かしあい爽やかに」のもとに4回のカウンスル例会プログラムを作成いたしました。今期はコミュニケーションの基本でもある語ること、聴くことに重点を置きました。第1回、第2回例会で今まで取り上げた事のないストーリーテリングを勉強することに致しました。第3回はスピーチコンテストと会員を講師にお迎えしワークショップ「聴く」を行います。第4回例会は役員交代式、クラブ役員、委員長研修を行います。第1回例会ストーリーテリングではまず朗読とストーリーテリングの違いを、宮沢賢治「よだかの星」を題材に実際に朗読とストーリーテリングを行うことで理解していただきました。ワークショップリーダーにより「あなたもストーリーテラー」と題して教育を行いました。応用編として3種類の題材「エッセイ、マンガ、時の話題」をもとにして、各テーブルでストーリーテリングの練習をし、発表していただきます。例えばサザエさんの4コママンガをもとに想像をふくらませ、2～3分のストーリーテリングを行います。少々問題点もありましたが充実したプログラムだったと思います。第2回例会は各クラブで違った題材（神話、民話、童話、文芸作品など）でストーリーテリング大会を行います。後半は落語家を迎え、話の間のとり方、ユーモアのある話し方などを聞き、その後日本の話芸“落語”を聞かせていただきます。楽しく、しかも勉強になるプログラム作りをと考えました。

## カウンスルNo.5

### カウンスルで拡大仲間づくり

第一副会長 小崎 茂子

「私、入会して3年目、こんな上座に座らせてもらっていいのかしら、感激だわ!」と第1回例会の幸運を叫んでいる人がいた。そうなんです。今年も受付でくじを引いて自分の席を自分で決めるのです。そして座り合わせた向う三人と両隣でバズセッション、ブレンストーミングや議事法クイズなどを通して共同学習する時間を20分間ほど設ける事にしましたのです。承り学習はもう嫌という人も、例会の最後には他クラブの隣の人と、また会いましょうねと握手して、ついでにプログラム委員に「今日はいい勉強になりました。楽しかったです」と挨拶をしてくださる。プログラム委員の一番嬉しい瞬間です。

今年の会長のテーマ「美を求めて」から、美を育む、慈しむ、ふくらむ、弾むと4回のサブテーマを発展的に作りました。第1回例会はITCの学習が自己満足だけに終わらず、人の幸せにつながる学習の切っ掛けとなればと思い朗読研修を行いました。第2回例会では「よい人間関係を作る話し方」について学習。新会員も増えたところで、コミュニケーションの基本を学習します。第3回はスピーチコンテストの後で手話の学習。手話で助けを求められていても、知らずに通り過ぎないために。第4回は「身にしみるようなお話を聞きたい」というクラブの要望に答えようと、いま、一生懸命に思索しているところです。ITCでの学習が毎日の生活のたんなる装飾に終わらず、自分の考え方や生き方までも変えるほどの学習でありたいと考えながら。

## カウンスルNo.6

### 魅力的なプログラムのポイントはどこ?

第一副会長 安達 寿子

クラブに持ち帰って工夫していただけるプログラムを企画、構成しておりますのが、今期のカウンスルNo.6です。第1回例会は「ザ・テレビ」と題して、視覚補材のOHPやVTRを使ってのリサーチスピーチとディスカッションでした。今年にはテレビ40年と云う時期を生かして、テレビの歴史や実態を調べ、その上でテレビの影響力についてのディスカッションに大切なポイントをおいたプログラムでした。想像以上に熱の入ったディスカッションとなって、No.6のメンバーのレベルの高さに驚かされたものです。第1回例会は何とか無事終了致しました。第2回例会は、建都1200年の幕開けの月ですので、「おもてなし」と題して、京都グランドホテル支配人友澤弘様にご講演をお願いしております。おもてなし技術では専門家である支配人より普段お聞きすることのできないお話が聞けるのではと、今からとても楽しみにしております。その中で、ハブスブルク家を訪問された時のお話をしてくださると伺い、ハブスブルク家に焦点をあてたコーナーも考えております。講演後、各クラブの儀典委員長が事前にとりまとめた質問を出し、例会の趣旨が生かされれば、今期のNo.6の小川会長のテーマ“新しい自分の発見”に繋がるのではと考えております。今期のプログラムの特徴は、プログラムを生かし、魅力ある内容にするために、必ずどこかに大切なポイントが隠されている点でしょうか。どうぞ、そのポイントを捜しにNo.6へお出かけください!

## カウンスルNo.7

## ステップ バイ ステップ

第一副会長 岡崎 祥子

今期、カウンスルNo.7では、会長の表明した「新たな一歩……継承と改革」のテーマに添って私どもプログラム・教育委員会も活動の第一歩を踏み出しました。例会の省力化及び教育の充実を目指し、委員会が一丸となって衆知を結集致しました。先ず、プログラムの表紙は、通年で1枚とし、例会毎に中身を増やしていく方法で省力化を図りました。表紙のイラストも才覚溢れる委員によって、上品でシンプル、且つ安価、その上丈夫な表紙が出来上がりました。カウンスルNo.7にお越しの折には、差し上げられる予備もございます。ご来訪をお待ち申し上げております。さて、次の目標であります教育の充実については、第1回例会の会員の手によるワークショップと致しました。基本を再度見直し、クラブで活用できるよう、会則と議事法、評価、スピーチ、トピックスを取り上げました。経歴年数の多少にかかわらず、この取り合わせは好評でした。もう一つ第1回例会で取り上げたことに、「ITC世界大会レポート」があります。リージョンの会則決議委員長を輩出しています我カウンスルは、この委員長と他3名の参加者によって、ビジネス、ツアー、コンベンションの3分野からスライドとユーモア溢れる話術によって本格的な報告がなされ、会員の参加意欲が大いに刺激されたことでした。とまれ、第1回例会は会員に満足して頂けたと思うのですが……。次回例会以降は、リージョンレベルの教育の恩恵を賜ってプログラムの更なる充実を目指し邁進して参りたいと思います。

## カウンスルNo.8

## 「全員参加」をめざして '93 秋

第一副会長 三原 貴美子

カウンスルNo.8の今期のテーマは「全員参加」です。プログラムには当然このテーマが生かされなくてはならないと受けとめました。6月頃、新聞で「清貧の思想」の書評を目にし、内容的に賛否両論ありそうな気がし、また年代によっては読後感も異なって来るような気がして、プログラムに使えるのではないかと考えました。委員会内で夏休み中に読むことを決めたのが7月13日でした。8月31日読み終わったところでどんなプログラムにするか話し合い、9月7日さらに細部を詰め、2時間のプログラムが決まりました。まず導入として20分のインタビューを行います。インタビューの内容は「清貧の思想」から派生する種々な問題についてです。次に10分間のリサーチスピーチを2名の会員が行います。一人は良寛について、他の一人はアッシジの聖フランシスコについて。どちらも清貧の人として本の中にとりあげられている人物です。続いて本の中で引用されている徒然草の抜粋部分の朗読を5分行います。これでプログラムの前半は終了。10分の休憩が入り、その間にお茶とケーキが配られます。後半は「清貧の思想」を読んでというテーマのもとにパネルディスカッションを50分行います。9月末に発行されたニューズレターでは、「本を必ずお読みの上ご出席ください。」と呼びかけました。また評価用紙を各クラブ2名の割で配り、とにかく沢山の会員に参加していただけるよう努めました。何回もの打ち合わせなど大変でしたが、その過程はとても楽しかったです。苦勞と喜びは互いに一つのものの表裏です。

## 第1回カウンスル例会に参加して

### カウンスルNo.2 例会 シンポジウムに学ぶ

都クラブ 桑原弘子

秋晴れの爽やかな一日、日興証券神戸支店で開かれたカウンスルNo.2の例会に出席した。神戸の町が見渡せる大きな窓に囲まれたシンプルな会場は新鮮で、程よいテーブルセッティングにおもてなしの心を感じた。他カウンスル訪問は初めて、少々緊張気味の私には印象的だった。

整然としたビジネス。昼食の後、興味深かった「今、リーダーシップとは？」と題したシンポジウムのプログラムが始まる。伊庭文子日本リージョン会長の静かだが、強い意志をこめた基調講演は、リーダーとしての知識、能力、人間性について。また、自分のリーダーシップとしての限界を知ることの大切さや、混沌とした世界で今必要なのは、リーダーシップであると心をこめて話された。基調講演の後、3人のメンバーが、各々の立場よりスピーチされた。まず泉谷智恵さんは、性格分析から見たリーダーシップについて、丁寧に示唆に富んだ話をされた。次の小山一子さんは、さまざまなリーダーシップの条件を全身で力説。「目は心の窓」と大きな目を見開いての話し振りは、会場の雰囲気盛り上げた。最後の立野知津子さんは、「リーダーは一日にして成らず」と自分の経験から話され、イエスカノーで答える「リーダーシップ度」のテストには、全員が参加した。スピーチの後、モデレーター寺田めぐみさんと、スピーカーとの質疑応答があり、多角的な意見を交換し、自らの可能性を信じ挑戦を続けることの大切さを学んだシンポジウムは終わった。学ぶ機会を得たことに感謝しながら、夕陽と共に神戸を後にした私だった。

### カウンスルNo.8 例会 パネルディスカッション「清貧の思想を読んで」に参加して

柏クラブ 田中克子

パネルディスカッションが始まる前に、コーヒーとケーキが配られました。時間節約のためでしたが、その場の雰囲気を和らげる効果もありました。ディスカッションは、「清貧の思想を読んで」というテーマでした。まず3人のパネリストが約3分間ずつ、読後感などを語りました。清貧という言葉の意味から始まり、今までに出会ったその言葉にふさわしいと思われるある俳人のことを思い出しながらの話。著者の主張は、同感できないことが多い。貧しい人は心が清いように書いているが、金持ちが常に慳貧であるとは限らないのではないかという話。この本の清貧の生き方のモデルは、必ずしも適切な人選とは言えないが、著者の言おうとしていることには同感できるものもある。確かに家の中を見回したら、必要がないのに買ってしまった物が沢山あることに気付かされたという話などが出ました。参加者が4都県に散らばっていたので、全員が一堂に会して話し合える機会は、当日の昼食を含めて2回だけでしたが、FAXや電話を利用して、参加できなかった人にも情報を届け、意見を聴くという作業がきちんと行われたのは、モデレーターの質の高さ故のことと思います。この本の掴み所のなさ故に、話はさまざまに発展し、途切れることなく、あっという間に予定の時間が過ぎました。参加者の感想は一樣に、楽しかった、この機会に沢山話し合えて良かったというものでした。コーヒーの効果かもしれませんが、何よりも聴衆の皆さんの熱心に聴いてくださる態度が、私達を支えてくださったような気がします。

私の国際交流

神戸クラブ 森下千秋

昨年9月、夏休みを利用してシェラネバダリージョン、カウンスルNo5の例会に出席の機会を得ました。例会は、カリフォルニア州バレーオ市で催され、ランチをはさんだなごやかな雰囲気のものでした。私は、シスターカウンスルである我がカウンスルNo2の会長のメッセージをお伝えし、短いスピーチを行いました。ネイティブの前でのスピーチは大変緊張感があり、また晴れがましい経験でした。

カウンスルNo5の中には、基地の中にあり冷戦終結によりアメリカ国内の基地縮小のため基地もろとも消滅する運命にあるクラブもあれば、クラブが高齢化し若い会員がその運営を一手に引き受けなければならない諸事情もあるようで、さまざまです。今さらながら日本リージョンは世界において日の出の勢いであることを肌で感じた次第です。

カウンスルNo5での国際交流活動を推進されておりますのがキエコ・ウェティカ様で、彼女のご尽力には多大のものがああります。1987年、カナダのバンクーバー大会に参加のため訪米したカウンスルNo2の約10名が、彼女のお世話で“おぼさんのホームステイ”を体験いたしました。私はその時にこんな言葉に出会いました。“Do you need me?” — 「私が必要でしたらいつでも声をかけて下さい。」というものでした。私の国際交流の原点は、実はこの言葉なのです。私に出来ることは小さなことでも、すぐ今から。“Do you need me?”

書記の思いは何処も同じ

— グレートレイクスリージョン会報1993年9月号より —

GLR書記 パトリシア・ジョーンズ

「無名の挑戦」、「不可能な使命」、はたまた「栄光という名の報酬か」という言葉が、グレートレイクスリージョンの書記の役職についた時私の心に浮かびました。

今年はいつもの書記の任務と役員会の出席や議事録の準備の他に、2つのオールクラブメイリングの準備と発送をすることになっています。これは10月と4月に出され、リージョン全体に重要な適時の情報を届ける大切なメールなのです。

この役職は役員全員に電話をかけて、自分の責務がうまく全うできるように、日取りや運営などに関して取りしきらねばなりません。おまけに、カウンスルNo.4を公式訪問するという特権まで私に与えられています。

わくわくするような年であり、挑戦の年であり、報われる年でもあると約束されたのです。リージョン役員会への旅やカウンスルNo.4への訪問もまたわくわく心を掻き立てることでしょう。

今年の私の目標は次の9文字で表すことができます。

**S** - *Stamina* スタミナ

**E** - *Enthusiasm* 熱意

**C** - *Copious notes* 山積みのノート

**R** - *Reliable* 信頼される

**E** - *Energetic* エネルギッシュ

**T** - *Team Player* チームプレイヤー

**A** - *Attention to details* 細部への注意力

**R** - *Realistic* 現実的

**Y** - *Y-E-S!* はいそうなので—す。



※ シェラネバダリージョン、カウンスルNo5へ、リージョン会報及び各カウンスルニューズレターを、森下様を通じてお送りしております。また、グレートレイクスリージョン会長にもリージョン会報を送りました。(編集部註)

## 哀 悼

故 沢田 正子 様 (北摂クラブ)

*To Mrs. Sawada, who recently passed away*



*Thank you, Mrs. Sawada, for having been a good companion in our Hokusetsu Club. You acted with sincerity and much responsibility. Now we are filled with many memories of you, such as your smiling face and your humorous speeches. Your opinions were always very unique and interesting. Your English skit after the installation ceremony was especially interesting. We'll never forget it. You will live forever in our hearts.*

*Thank you again, Mrs.Sawada.*

突然 逝ってしまった沢田さんへ

沢田さん、北摂クラブの素晴らしい仲間であってくださりありがとう。

あなたは、誠実さと責任を持ってよく活躍してくれましたね。

あなたの笑顔、ユーモアで満ちあふれたスピーチなど、

今、私達の心の中はあなたの思い出で一杯です。

あなたの意見は、いつもユニークで面白かったわね。

特に、あなたが書いてくれた役員交替後の英語劇は、ウイットに富みとても面白かったわ。

私達はあの劇を忘れることは決してないでしょう。

沢田さん、素晴らしい仲間であってくださりありがとう。

心からご冥福を祈ります。

北摂クラブ 乙野 靖子

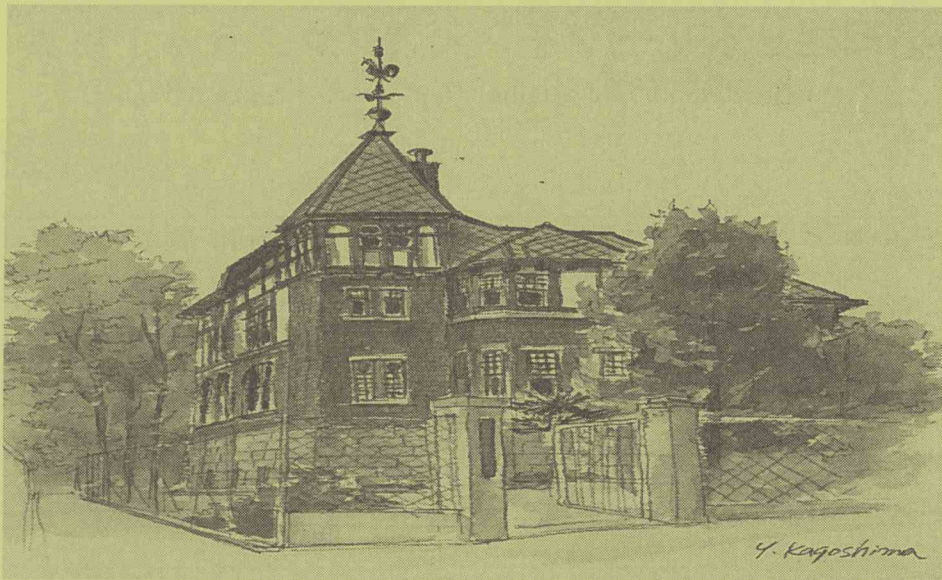
(1993年10月ご逝去の沢田さんを偲んで、北摂クラブ11月例会における追悼インスピレーションより)

故 里見 知子 様 (北大阪クラブ)



12月3日、クラブ前期会長の里見知子さんを失い、北大阪クラブは今深い悲しみに閉ざされております。産婦人科を経営なさるご主人様を助け、患者の食事を受け持たれるお忙しい毎日でしたが、「これからは世界中を旅して人生を楽しもう」と病院を閉められた時、たまたま出会われたのがITCであったと伺いました。お二人揃ってのテニスに旅行にと充実した熟年ぶりでいらしゃいましたが、何時ごろから病魔が彼女をむしばんでいたのでしょうか。お痛みのないご最期であったと伺ったのがせめてもの救いです。「亡くなった人を想うことが最大の供養だと言うのなら、私達は生ある限り里見さんのことを覚え続けてまいります。」あるメンバーの言葉通り、彼女は今皆の心の中で生きています。

北大阪クラブ書記 米田 隼子



風見鶏の館

## 第12回 日本リージョン年次大会

テーマ 「ひろがり」

開催日：1994年6月2日(木)、3日(金)

会場 所：ホテルオークラ神戸 Tel 078 (333) 0111(代)

大会コーディネーター 川口敬恵

Tel 078 (871) 3373

Fax 078 (871) 1573

年が改まり、今期も後半に入ろうとしています。皆様はそれぞれのお立場に慣れて、より質的な充実を図っていらっしゃるものと存じます。大会準備委員会も忙しくなっております。

大会のテーマは「ひろがり」です。ひろがりと聞いただけでエネルギーを感じます。明るさを感じます。私達のコミュニケーションの輪をひろげましょう。そして、向上の心もひろげてゆきましょと伊庭会長は笑顔でおっしゃいました。私達メンバーも笑顔で大会に参加して、友情を深め、共に学び向上してまいりましょう。

今期は新しい試みの一つとして登録の方法を変えました。詳細につきましては、各クラブへお届けします申し込みの説明やフォームをご覧ください。よくお読みくださいまして間違いのないようにお申し込みいただきますようお願い致します。クラブ数が増えましたので、各クラブのご協力を得なければ無理になってまいりました。最終的に送っていただく名簿をそのまま使って大会準備の各委員会が活動しますので、クラブの会長、会計そして役員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

大会の2日間は忙しく、ショッピングの時間もない方々が多いそうです。おみやげをホテル内で買い求めいただけますように、神戸名物や大会記念のすてきなTシャツなどを物品販売委員会が検討しています。その他の委員会のご案内も含めて会報の第3号でお知らせ致します。

登録の方法やその他何でもどうぞお気軽にお尋ねください。私ども準備委員会は、皆様と共に有意義で実り多い大会にしたいと張りきって準備を進めています。おひとりでも多くのご参加を楽しみにお待ちしております。

# 第12回日本リージョン大会プログラム予定表

## Japan Region 12th Annual Conference Program Plan

ホテルオークラ神戸  
Hotel Okura Kobe

6月1日(水) June 1 (Wed.)

9:45~10:00	リージョン運営研修会受付	Region Management Training Registration
10:00~12:00	リージョン運営研修会	Region Management Training
12:20~12:50	カウンスル運営研修会受付	Council Management Training Registration
13:00~16:00	カウンスル運営研修会	Council Management Training
16:15~18:15	リージョン運営研修会	Region Management Training

6月2日(木) June 2 (Thu.)

8:30~ <del>8</del> :45	登録受付	Registration
9:00~9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	開会式	Opening Ceremony
10:45~	ビジネス ITCインフォメーション	Business ITC Information
12:00~13:00	昼食 選挙(派遣員のみ別室)	Luncheon Election (Delegates Only)
13:10~14:50	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
14:55	選挙結果発表	Election Report
15:10~16:50	教育セッション 外部講師と会員部門 [3]	Training Session Lectures [3] Guests & Members
17:20~17:40	晩餐会 受付	Banquet Registration
17:50~18:30	カウンスル会長レポート 表彰	Council Presidents' Reports Awards
18:30~20:45	晩餐会 余興	Banquet Entertainment

6月3日(金) June 3 (Fri.)

8:30~8:55	登録受付	Registration
9:00~10:00	ビジネス	Business
10:10~10:50	教育セッション ITC国際会長へのQ&A	Training Session ITC International President, Q&A
11:00~12:20	講演	Lecture (Guest)
12:20~13:20	昼食	Luncheon
13:30~15:20	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~	役員交代式 報告	Installation Announcement
16:30	閉会	Adjournment

※時間、内容の変更が生ずる場合もあります。御了承下さい。会報3号でお知らせ致します。

教育セッションへの参加をお待ちしています。

第一副会長 桑原 美紀子

今期のプログラム委員会は、“教育とはお互いに育つこと”をモットーに話し合いを重ねてまいりました。例年多くのワークショップが計画されて成果をあげておりますが、今年度は、年度はじめに全クラブにお願いしたアンケートの中から多くのご意見を参考にしながら、新しい試みをしてみました。

その1) 教育セッションは、4部門にしほり会員の参加と講師の方々の協力を得て《心を磨く》ことに視点をあててみました。外気に触れることによって日本リージョンに新しい風が導入されるよう期待しております。

その2) 例年大会では、120人あまりの準備委員がお世話をしてくださいますが、委員の方々は、プログラムに参加できないほど多忙です。今期は全員参加の方向で、教育セッションを企画いたしました。必ず実行してみたいものです。

その3) 教育セッションに参加した方々が、是非自分たちのカウンスルやクラブでも、企画してみたいとの意欲がわくようなセッションにしたいと考えております。大会の6月2日、3日には完熟した企画になっておりますのでご期待ください。

教育セッション申込要領

申込、変更、取消、問い合わせは、すべて**クラブ会長**の責任でお願いいたします。

教育セッションに関して、連絡の必要のある場合は、**クラブ会長宛**にいたします。

☐ 申込について

会報18頁にとじ込みの教育セッション申込み券を切り取って、第1希望、第2希望その他必要事項を記入の上、クラブでまとめてコピーを取り、申込み券を提出してください。

尚、希望人数によって第2希望になったときは、なにとぞご了承ください。

☐ 変更・取消

特別の事情で、変更または取消のある場合は**必ず葉書**を使用し、右のように記入してお届けください。

☐ 締切日

4月6日

☐ 申込先

桑原 美紀子 (リージョン第一副会長)

〒732 広島市東区牛田新町1-10-15

☎082-221-0666

月	日
教育セッション変更(取消)届	
カウンスルNo. _____	クラブ名 _____
氏名 _____	
[ワークショップ名]→[ワークショップ名]	
理由 _____	
_____	
_____	

# 教育セッション一覧表

1994年6月2日(木) 15:10~<sup>16:50</sup>~~17:00~~

A	<p>パフォーマンスとおしゃべり</p> <p>北山 隆氏 (リコーダー奏者) 大阪音楽大学教授 付属楽器博物館館長</p> <p>アンサンブル ピポー</p>	<p>手作りの楽器のあたたかさを見直してみませんか</p> <p>電気の楽器の多い昨今、手作りの楽器のあたたかさを見直してほしいということで、手近なもので楽器を作り、北山先生の楽器のお話を伺いながら アンサンブル ピポーの演奏による、リコーダーのかもしだす、素晴らしい音のひろがりをお楽しみ下さい。</p>
B	<p>講演とディスカッション</p> <p>末延 岑生氏 神戸商科大学教授</p>	<p>「ニホン英語の通じビリティ」</p> <p>ニホン英語はどのていど国際的に通じるのか。学習者の立場から、日本人の英語の間違い分析を続けて20余年。わたしは、日本人の英語は「眠れる獅子」だと信じている。いったん起きあがれば、世界中に轟く。“間違っていていい、通じりゃいい”という副題のもとで、楽しく語り合しましょう。</p>
C	<p>討 論</p> <p>関西学院大学チーム 対 ITC チーム</p>	<p>アメリカの大学でのディベート教育は長い歴史がありますが、日本にはありません。ディベートは入念な調査を必要としますが、私達に物事を両面から考えることの出来る柔軟性を与えてくれます。大学対抗のディベート コンテストで優勝した経験を持つ、関西学院大学の討論倶楽部の皆さんとの対決です。乞ご期待!</p>

1994年6月3日(金) 10:10~<sup>20</sup>~~12:00~~

Q&A	<p>スザンヌ シフレット ITC国際会長</p>	<p>ITC公式訪問者、スザンヌ シフレット国際会長に私達ITC日本リージョンのメンバーが、活動の中で疑問に思っていること、質問、その他何でも、Q&amp;Aで伺ってみましょう。</p>
講 演	<p>木津川 計氏</p> <p>立命館大学 産業社会学部教授</p> <p>「上方芸能」編集長</p>	<p>夫婦同伴文化はなぜ育たなかったか — 夫婦別文化の可能性をも探りつつ —</p> <p>我が国が、欧米から沢山の事を学び、多くの事柄が欧米化してきた中で、一つだけ学ばなかったものがあります。「夫婦同伴」です。</p> <p>なぜ、日本では育たなかったのでしょうか…思わずお話の中に引き込まれてしまう話術で、先生がそれを説き明かして下さいます。</p>

## Education Session

Thursday, June 2, 1994, 15:10~17:00

A	<p><b>Performance and Talk</b></p> <p>TAKASHI KITAYAMA (Recorder player) Professor, Osaka College of Music Curator, Museum of Musical Instruments ENSEMBLE PIPEAUX</p>	<p><b>Won't you take a fresh look at handmade instruments ?</b></p> <p>They give us something warm, which we cannot get from electric instruments. Being fascinated with the instruments which are made of familiar things, you'll have a new understanding of their good points. Enjoy the broad expanse of exquisite sound by Ensemble Pipeaux and Professor Kitayama's talk.</p>
B	<p><b>Lecture and Discussin</b></p> <p>MINEO SUENOBU Professor, Kobe University of Commerce</p>	<p><b>Communicability of Japanese English</b></p> <p>Japanese English(JE) today seems to have started to seek its way toward globalization among the teachers of English in Japan. Ironically, however, not many of them accept it and put it in use. They paradoxically seem to stick to "correct English" which they themselves cannot usually reach. This has caused increasing fear and burden of young Japanese students. I believe JE is like a "sleeping lion." Once he wakes up...</p>
C	<p><b>Debate</b></p> <p>Kwansei Gakuin University Team vs. ITC Team</p>	<p>Debate Education has a long history in American Universities. But not in Japanese Universities. Though "Debate" requires elaborate research, it gives us flexibility in our thinking which enables us to see both sides of an issue. Our opponents will be Kwansei Gakuin University Team having once won the title.</p>

Friday, June, 3, 1994, 10:10~12:00

Q&A	<p>SUZANNE SHIFLET ITC International President</p>	<p>Don't you have any questions about ITC activities ? Don't hesitate to ask our ITC Official Visitor, President Suzanne Shiflet, if you have any.</p>
Lecture	<p>KEI KIZUGAWA Professor, Colleges of Social Sciences Ritsumeikan University Chief Editor "KAMIGATA GEINO"</p>	<p><b>Why hasn't "Couple (Mr &amp; Mrs) Style Culture" been established in Japan ?</b> — thinking about the possibility of "Single Style Culture" —</p> <p>We have learned a lot from the West. But only one thing we haven't accepted is "Couple Style Culture". Why has it been sterile in Japan? You'll be able to get the answer through the lecturer's appealing speech.</p>

# 日本リージョン大会登録及び食事申込書

Registration & Meal Reservation Form

## 会員申込み書

日付のところに○印を入れて下さい。

役職は、リージョン役員、リージョン各委員長、リージョン元会長、カウンスル会長、クラブ会長、リージョン派遣員及び代理のみ記入して下さい。

カウンスルNo.		フリガナ	役職名
クラブ		会員名	
出席日	2日	登録費 6,500円	円
	3日		
食事予約	2日	昼食 3,500円	円
		晚餐会 12,000円	円
	3日	昼食 3,000円	円
欠席		欠席協力金 1,000円	円
合計金額			円

☆ 必要事項を記入し、コピーしたものにお金を添え、クラブ会計にお申し込み下さい。

☆ ゲスト用申込み書の足りない場合は、コピーしてお使い下さい。

☆ 申込み締切日：1994年4月6日

☆ 申込み締切後に変更がある場合は、必ずクラブ会計にご連絡下さい。

☆ 登録申込書送付先、及び振込先はクラブ会計のお手元にあり、大会準備委員会との連絡は、クラブ会計をお願いしてあります。

☆ 5月16日以降の取消は、いかなる場合でも返金できません。

☆ 予約されたお食事は、必ずお召し上がり下さい。

☆ 派遣員の方は、2日の昼食は選挙の為必ずご予約下さい。

## ゲスト申込み書

日付のところに○印を入れて下さい。

カウンスルNo.		フリガナ	フリガナ
クラブ		紹介者名	ゲスト名
出席日	2日	登録費 2,500円	円
	3日		
食事予約	2日	昼食 3,500円	円
		晚餐会 12,000円	円
	3日	昼食 3,000円	円
合計金額			円

登録委員長 野田 絢子 (阪神)

登録会計委員長 伊賀 陽子 (六甲)

食事委員長 塩崎真喜子 (六甲)

# ホテル宿泊申込書

Hotel Reservation Form

カウンスルNo.	フリガナ	大会関係役名
	クラブ 会員名	
部屋タイプ	同室代表者名(クラブ名)	
宿泊希望日：6月1日(水)、2日(木)		宿泊日を○で囲んで下さい。

宿泊委員会ではホテルオークラ神戸の予約をお世話いたします。

〒650 神戸市中央区波止場町2番1号 メリケンパーク内 ☎(078)333-0111

ホテル名	部屋タイプ	料金(1名分)	備考
ホテルオークラ神戸	シングル	16,000	朝食付、税、サ込み
	ツイン	12,000	
	ツインのシングル使用	21,200	

上記の料金はITC特別料金になっております。

## ☆ 申込案内

1. 5月1日以降の変更(キャンセル、追加等)は、直接ホテルに連絡交渉して下さい。
2. キャンセル料は、一週間前20%、前日及び当日は100%です。
3. チェックイン(P.M. 2:00以降)、チェックアウト(A.M. 12:00まで)  
お支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
4. ホテルオークラ神戸には充分部屋を確保しておりますが、ご希望にそえない場合はご了承下さい。
5. 宿泊申込書は点線上部をコピーし(登録とは別に)、クラブ会計でまとめて宿泊委員長までお申込み下さい。

☆ 申込締切日：1994年4月6日 厳守

☆ 会場に近いところには、以下のホテルがございます。

オリエンタルホテル 〒650 神戸市中央区京町25番地 ☎(078)331-8111

神戸タワーサイドホテル 〒650 神戸市中央区波止場町6番1号 ☎(078)351-2151

宿泊委員長 立花 眞琴(神戸)

## 神戸の観光案内・交通案内

異国情緒あふれる神戸——海と山の百万ドルの夜景・世界の民族料理・風俗・ファッションをお楽しみください。今期は、パンフレットを前もって皆様のカウンシルへ送付致します。楽しい旅行プランをたてられ、神戸大会にご出席ください。会場デスクにもパンフレット・グルメリスト・時刻表など取り揃え、お待ちしております。

観光交通委員長 石崎和子(イースト神戸)

### 観光ルート

#### 1. シティーループ (ホテルオークラ前乗降可)

乗り降り自由な「走る異人館」バス 200円 (1日券 500円)

ハーバーランド (海洋博物館) ・南京町 ・市立博物館 ・北野異人館 ・ハーブ園

#### 2. クルーズ (港めぐり)

神戸シーバス (乗り降り自由)

ハーバーランド ・ポートアイランド ・六甲アイランド

神戸港めぐり (トワイライトクルーズ)

パルメデール (食事付 ・ 2日前要予約)

ルミナス (明石海峡 ・ 関西国際空港めぐりなど)

シルフィード (大阪天保山行など、食事 ・ 喫茶付

前日正午迄要予約)

### ホテルオークラ神戸への交通案内

◆ 新神戸駅よりタクシー約15分 (1,500円)

◆ 三宮駅よりタクシー約5分 (700円)

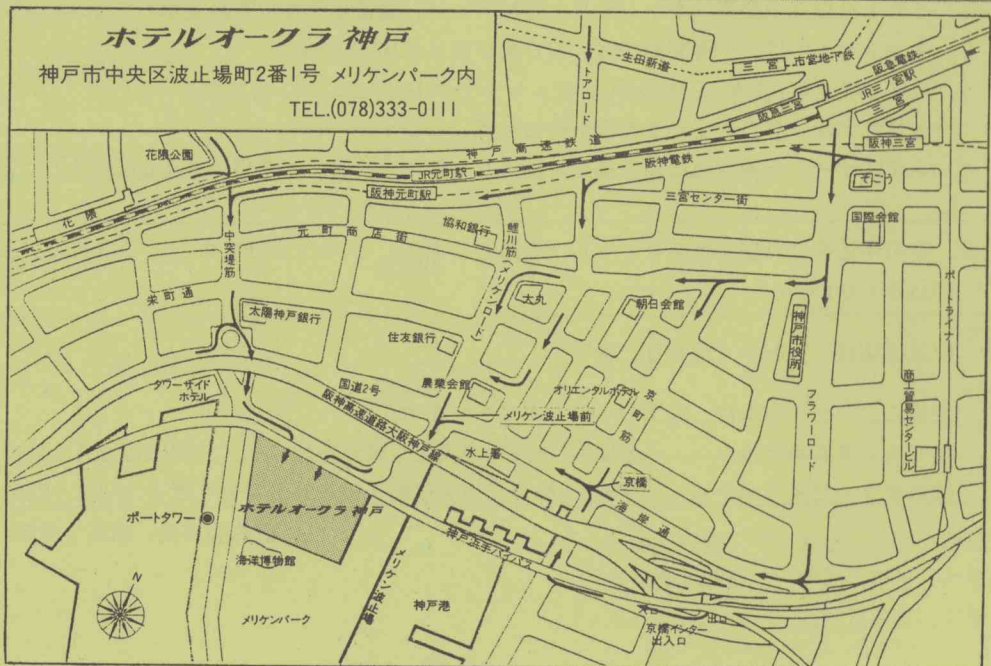
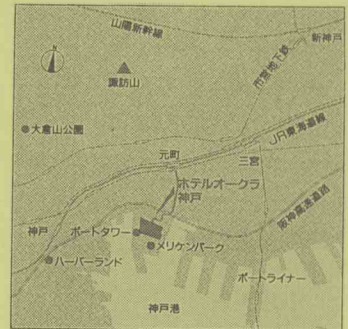
バス (JR三宮北西角より) 急1・18番 (メリケンパーク行)

◆ 阪急花隈駅より徒歩20分

◆ JR・阪神元町駅より徒歩10分

◆ 阪神高速道路京橋インターチェンジより3分

◆ 大阪国際空港より空港バス三宮迄約50分



# 第12回日本リージュン年次大会準備委員会

## 12th Region Conference Committee

大会コーディネーター 川口 敬 恵 (阪神)

コ・コーディネーター 小島 百合子 (阪神)

柚本 加代子 (六甲)

1994年6月2日・3日 ホテルオークラ神戸

委員会名	委員 (クラブ)	委員会名	委員 (クラブ)	委員会名	委員 (クラブ)	
大会会計	※瓜生原稔子(甲南) 長瀬 玲(甲南)	接 待	※古市 愛子(阪神) 三木 艶子(阪神) 小野千賀子(芦屋) 段 きぬみ(姫路) 前川 雅子(姫路) 増田 京子(姫路) 岡本 淳子(姫路) 竹藤 節子(しらさぎ) 前田由紀子(しらさぎ) 清水 茂(しらさぎ) 吉田 恭子(しらさぎ) 中村 博子(北大阪) 西中真喜子(豊中) 小田 和子(豊中) 東口 光子(南大阪) 小泉 桂子(南大阪) 柴田三恵子(千里) 西川小百合(帝塚山) 岡田 範子(帝塚山) 古庄勢津子(堺東)	ペ ー ジ	※川上 瑠美(芦屋) 渡辺 弘子(姫路) 川染 厚美(尼崎) 植村 憲子(しらさぎ) 中村 祐子(梅田) 稲次 美子(堺東)	
登 録	※野田 絢子(阪神) 柳川 公子(甲南) 井上 芳子(宝塚)		※江崎 由佳(城北) 兼久 幸枝(城北) 大江 優子(城北) 豊川三千代(城北)	写 真	※江崎 由佳(城北) 兼久 幸枝(城北) 大江 優子(城北) 豊川三千代(城北)	
登録会計	※伊賀 陽子(六甲) 米良 いく(六甲)		ホスピタリティー	※岡崎マリ子(岡山) 黒住 裕子(岡山) 坂田 友子(岡山) 三谷百合子(岡山) 佐藤 千恵(岡山) 高原 翠(岡山)	物品販売	※種継 真澄(宝塚) 阿藤知津子(宝塚) 春江 逸子(宝塚) 長谷川弥栄子(宝塚) 堀 容子(宝塚) 小山 一子(宝塚) 佐々木和子(宝塚) 山根万佐子(宝塚)
食 事	※塩崎真喜子(六甲) 伊地知香代子(六甲) 落合みさ子(六甲)		VIP接待	※羽尾 則子(イースト梅) 広瀬 忠子(阪神) エプリンオーバライン(阪神) 坂上美智子(イースト梅) 梅田 滝子(イースト梅) 浜本 厚子(御影) 池田 都(岡山) 室 みどり(北摂)	広 報	※大島 麗子(舞子) 小河フク子(舞子) 下平 朝子(西宮) 山中 良子(尼崎)
宿 泊	※立花 真琴(神戸) 森下 千秋(神戸)		インフォメーション	※村上美耶子(関西) 白村 治子(神戸) スパンサー・絢子(イースト梅) 高良 純子(六甲) 風川 綾子(関西) 炭本 文子(関西) 山崎 鈴子(福山) 星住 珠美(舞子) 伊賀 武子(しらさぎ) 玉田知雅子(しらさぎ) 吉田 和子(しらさぎ) 十河 尚子(梅田)	観光・交通	※石崎 和子(イースト梅) 北川 恵子(イースト梅) 植田 峰子(イースト梅)
キ ャ ッ ト	※中来田慶子(西宮) 銅原 和子(六甲) 前野美枝子(六甲) 森谷スミ子(六甲) 村上 玲子(六甲) 中村 記子(六甲) 松山喜代子(西宮) 大谷ミチ子(西宮) 野口スミ子(舞子) 下地 英子(舞子)	エンターテイメント	※石本美知子(大阪) 岩田 洋子(甲南)	受 付	※深沢志津子(鳥取) 浜崎 恭子(鳥取) 小林 章子(鳥取) 正木美恵子(鳥取) 松下 常世(鳥取) 太田千世子(鳥取) 太田由紀子(鳥取) 滝田 紘子(鳥取) 縫谷みち子(米子) 野坂三柘子(米子) 遠澤 玲子(松江) 古満 曙美(松江) 稲井 幾子(倉吉) 名島 恰子(倉吉) 池淵美津子(境) 元角美千代(境) 尾澤 栄子(米子) 清水 典子(米子) 遠藤 玲子(出雲) 布野 泰子(出雲) 川口真佐子(とっとり砂丘) 永見 和子(とっとり砂丘) 広田 富子(とっとり砂丘) 安田清都子(とっとり砂丘)	
会場備品	※泉 和子(阪神) 長谷美智子(甲南) 松岡 友美(甲南) 高井 和代(甲南) 若林 裕子(甲南) 樋本 敏子(尼崎) 山田 昭乃(尼崎)					
企 画 デ コ レ ー シ ョ ン	※森 照子(御影) 奥沢 節子(宝塚) 藤木 次子(御影) 船本 純子(御影) 野平千賀子(御影)					
名 札 リ ボ ン	※曾山 綾子(三田) 香山 明子(三田) 則末美都子(三田) 大西奈香子(三田) 上田 正子(三田)					
儀 典	※三宮 晶子(阪神) 江藤万里子(関西) 木下あつ子(大阪) 米田 隼子(北大阪)					

# リージョンサロン



楽しく拝見しました。素晴らしい出来栄えでおめでとうございます。あたたかい、そしてチャーミングな会報。編集担当者のお人柄を感じました。ご苦勞お察ししながら次号を楽しみにしております。

前期編集者 東京クラブ会長 関 稔子

素晴らしい内容で一気に読ませて頂きました。盛り沢山の内容を40ページに納められたご苦勞が伝わってまいります。ITC世界大会、楽しく拝見しました。「カウンスル例会訪問」など、そして特徴、悩み、プログラムなどの内容を伺いたと思います。

九州クラブ会長 土田美奈子

梅田クラブ10月例会のプログラムにおいて、「ITCと私」「ITCへの提言」「ITCの問題点」という課題で会員全員が3分間スピーチをしました。その中から、ぜひリージョンへも伝えたい興味ある発言がありましたので、ご報告いたします。(会報関係のみ掲載 編集部註)

COMMUNICATORをみると、日本リージョンの規模から考えても、日本リージョンの記事が少なすぎる。リージョン会報に載せたものをCOMMUNICATORに転記できるくらいの記事を、会報に載せる努力をしてほしい。現在のリージョン会報はあまりに報告が多すぎる。もっとCOMMUNICATORにあるようなcreativeな記事があってもよい。第一の方法として、何かのプロである会員に記事を書いてもらうこと。第二に、ITCも社会に貢献できるような行動を起こし、それを記載するなど。

梅田クラブ会長 林 恵子

## 徳島クラブ役員名簿

会 長	五 藤 喜久子	〒770 徳島市助任本町1-3-1	TEL 0886-54-0823
	GOTO Kikuko	1-3-1 Suketohoncho, Tokushima	FAX 0886-53-5182
第一副会長	篠 野 欽 子	〒771-01 徳島市川内町上別宮南86-3	TEL 0886-65-5272
	SASANO Kinko	86-3 Kamibekku-Minami, Kawauchi-cho, Tokushima	FAX 0886-22-7640
第二副会長	新 居 曜 子	〒770 徳島市城東町2-6-40	TEL 0886-53-4951
	NII Yoko	2-6-40 Joto-cho, Tokushima	
書 記	北 島 カナエ	〒771-02 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保16-2	TEL 0886-98-2225
	KITAJIMA Kanae	16-2 Aza-Kawakubo, Tainohama, Kitajimacho, Tokushima	FAX 0886-98-1196
会 計	津 田 三佐代	〒770 徳島市住吉6-6-56	TEL 0886-55-0461
	TSUDA Misayo	6-6-56 Sumiyoshi, Tokushima	
カウンスル 派遣員	森 野 洋 子	〒770 徳島市昭和町2-71	TEL 0886-25-1488
	MORINO Yoko	2-71 Showa-cho, Tokushima	FAX 0886-25-1571

(ポート神戸クラブ、横浜クラブは、会員名簿に掲載してあります)

## 会 員 移 動

阪神クラブ役員交代	会計 野口政子(退会) → 善塔貴美子		
	善 塔 貴美子	〒662 西宮市染殿町6-1	TEL 0798-33-0002
	ZENTO Kimiko		FAX 0798-22-5373
ポート神戸クラブ会長	住所変更		
	室 谷 良 子	〒659 芦屋市西山町17-10-405	TEL 0797-34-5501

## お詫びと訂正

リージョン会報 Vol.12 No.1

P. 31 きふクラブ会長 石山加代子様 郵便番号 501-30 → 501-31

P. 38 東京クラブ会長 関 稔子様 番地 2-2-16 → 2-2-18

## おねがい

リージョンサロンへ“お声”をお寄せください。ご提言やご感想、クラブの〇周年記念行事のホットニュースなど。左ページのミニレター用紙をお使いください。

### 編集後記

内外の荒波に揉まれるトノサマ政権のニュースを頭の片隅に追いやってただひたすら校正の字句を追い続けて年が明けました。

会報1号に対するご提言、励ましのおことば ありがとうございます。土田様のご提案、さっそく2号にカウンスル例会プログラム特集を企画させていただきました。

梅田クラブのご提言、スタッフ一同あらためてページを練り、報告事項を検討してみました。会報とは、組織の中で報告し合い、会の運営の情報を知らせるという性格上、いずれも省略し難いという考えと、限られたページと予算の中で創造的で興味深い企画ページを編集したい思いとのジレンマの中で、編集作業に追われる次第。おそらく、歴代の編集スタッフも同じ思いをしてこられたことでしょう。

今後の課題として、みなさまのご意見をお聞かせいただきたいと思っています。

ご意見や、ご感想をお聞かせ願えるということは、読んでくださっているのがこちらに響いてきて、たいへん嬉しいものです。みなさまのお声を糧にして編集に励んでまいりたいと思います。

リージョン会報編集室	東海 和子（都）
	大野三恵子（京都）
	岡野 淑子（〃）
	高木 清子（〃）
	北丸 幸子（都）

603

京都市北区平野桜木町四〇一・一五  
東海 和子 方

リージョナル会報編集室 行

切手

